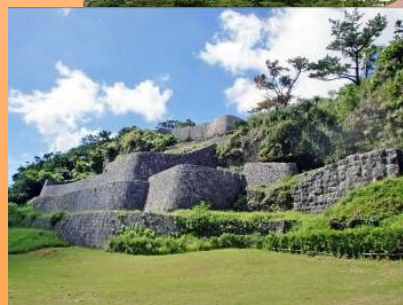


浦添市産業振興ビジョン

[概要版]



平成 30 年 3 月

浦 添 市

ビジョン策定にあたって

ビジョン策定の背景・目的

本市は、「太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市」を2020年までの街づくりの目標とする第四次浦添市総合計画に基づき、産業振興をはじめ、多くの施策に取り組んでいます。

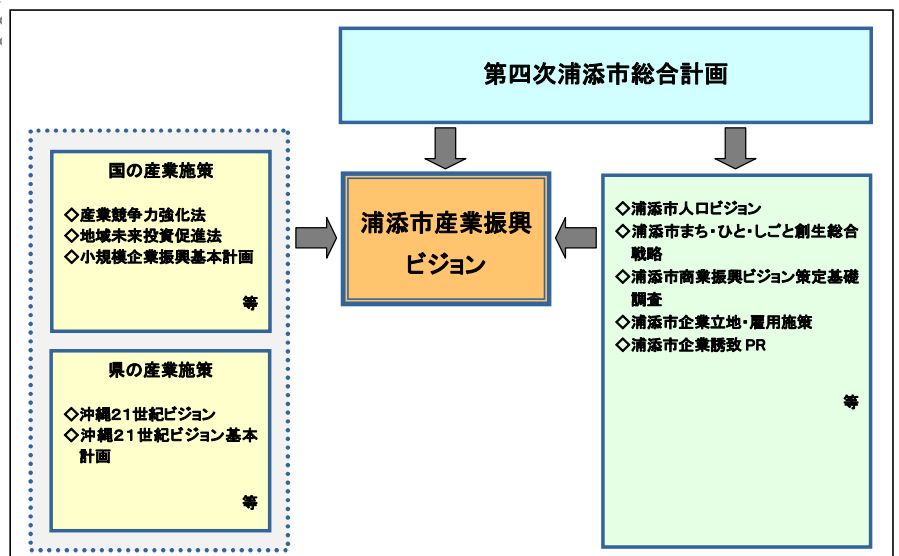
現在、本市には、地理的好条件や都市基盤の整備等により、多くの企業が立地しており、西海岸開発や臨港道路の整備、沖縄都市モノレール駅周辺開発など、新たなまちの賑わいの創出が期待されています。

一方、「稼ぐ力」を有している産業が少ない現状、通り会等での空き店舗の増加傾向等や中長期的には生産年齢人口の減少による地域活力低下等の厳しい状況が懸念されており、今後、更なる経済のグローバル化や人口減少社会の到来など、急速な社会情勢の変化の中において、本市の地域特性を活かした振興施策を推進していくため産業振興ビジョンが必要となっています。

このため、本ビジョンは、本市において商工業を中心とした幅広い産業が創業している実態を踏まえ、今後、第1次産業の6次産業化やモノレール延長整備に伴うまちづくり、西海岸開発等更なる産業振興及び環境整備を図るため、地域産業活性化及び新たな産業活性化支援策等の方向性を検討し、本市の特殊性を活かした産業振興方策を策定するものです。

計画の位置付け

本ビジョンは、浦添市の最上位計画である「第四次浦添市総合計画」（2011～2020）のもと、「浦添市人口ビジョン」（2016年2月）、「浦添市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2016年2月）等の本市関連計画及び国や県の産業振興施策等を踏まえ、本市の特殊性を活かし、産業振興の目指す姿やその実現に向けた方向性を示すものです。



計画の期間

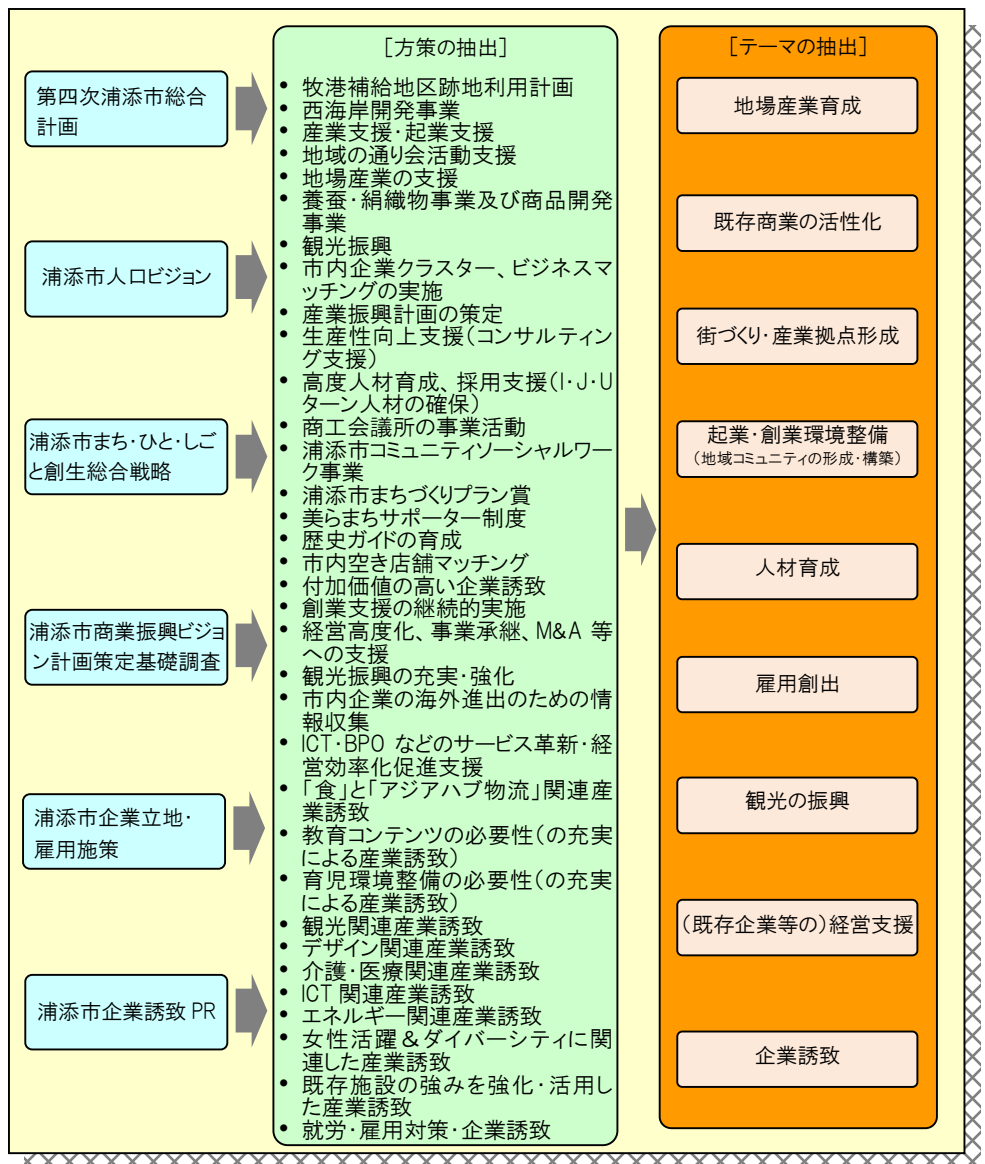
本ビジョンの期間は、2018年度から2025年度までの8年間（前期3年、後期5年）としています。

西暦	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
策定済み	第四次浦添市総合計画・基本構想										(仮)第五次浦添市総合計画・基本構想									
策定済み	前期基本計画					後期基本計画					(仮)前期基本計画					(仮)後期基本計画				
策定済み						浦添市まち・ひと・しごと創生総合戦略														
未策定								浦添市産業振興ビジョン(8年)												

浦添市の産業を取り巻く背景（現状把握）

テーマの抽出

ビジョンの方向性を検討するにあたって、「第四次浦添市総合計画」や「浦添市人口ビジョン」などの関連計画等から、産業振興に有効な方策を抽出し、そこから地場産業育成や既存商業の活性化などのテーマを抽出します。

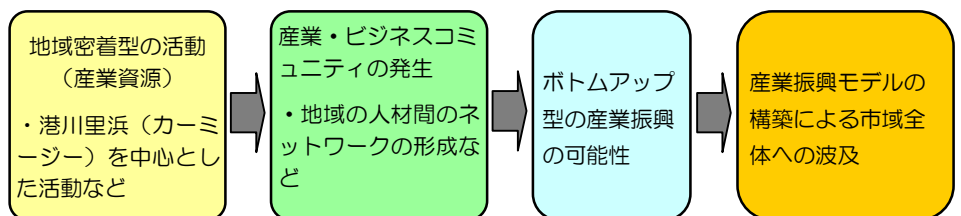


現状の産業立地や産業振興（地域活性化）の特徴

- ◆ 港川地域、屋富祖地域などで地域コミュニティの活発な活動がみられます。
- ◆ モノレール駅周辺、西海岸地域、キャンプ・キンザー跡地は今後の開発要素が多く存在します。
- ◆ 産業立地（多核的な産業構造）を活かした産業振興の必要性があります。
- ◆ 具体的に誘致のターゲットとなる業種・業態・企業等のイメージを明確にする必要があります。
- ◆ 産業振興のソフト面での支援策が十分とはいえない状況です。
- ◆ 産業振興の実際・実務を支える主体・体制を強化する必要があります。
- ◆ 「まちゼミ」など、地域活動の胎動があります。
- ◆ 産業振興における広域連携が不足しているので、外部の産業支援機関等と連携する必要があります。

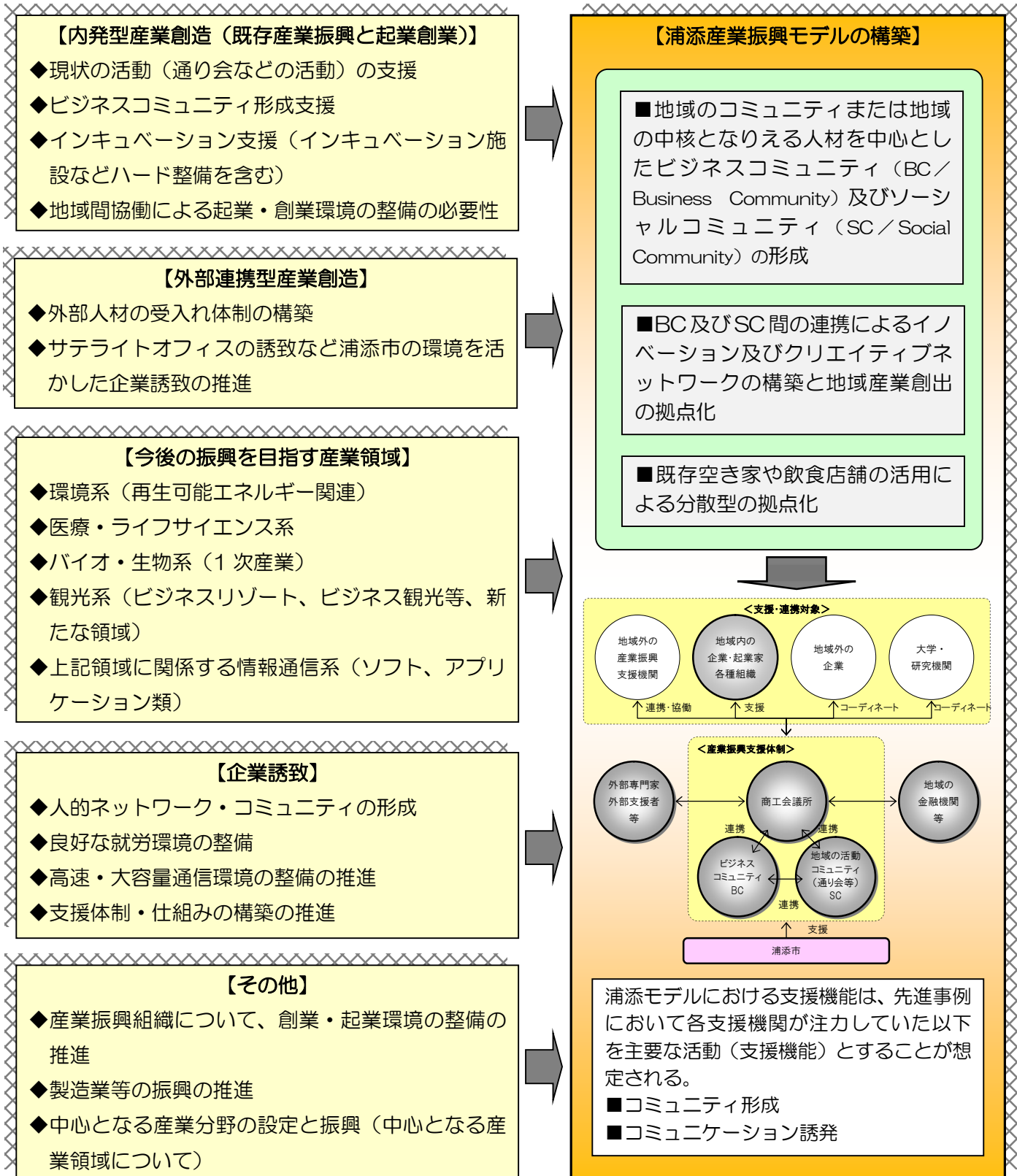
産業振興資源の活用

地域での活発な活動の萌芽があるので、これを産業振興資源（地域資源）として活用することが有効です。



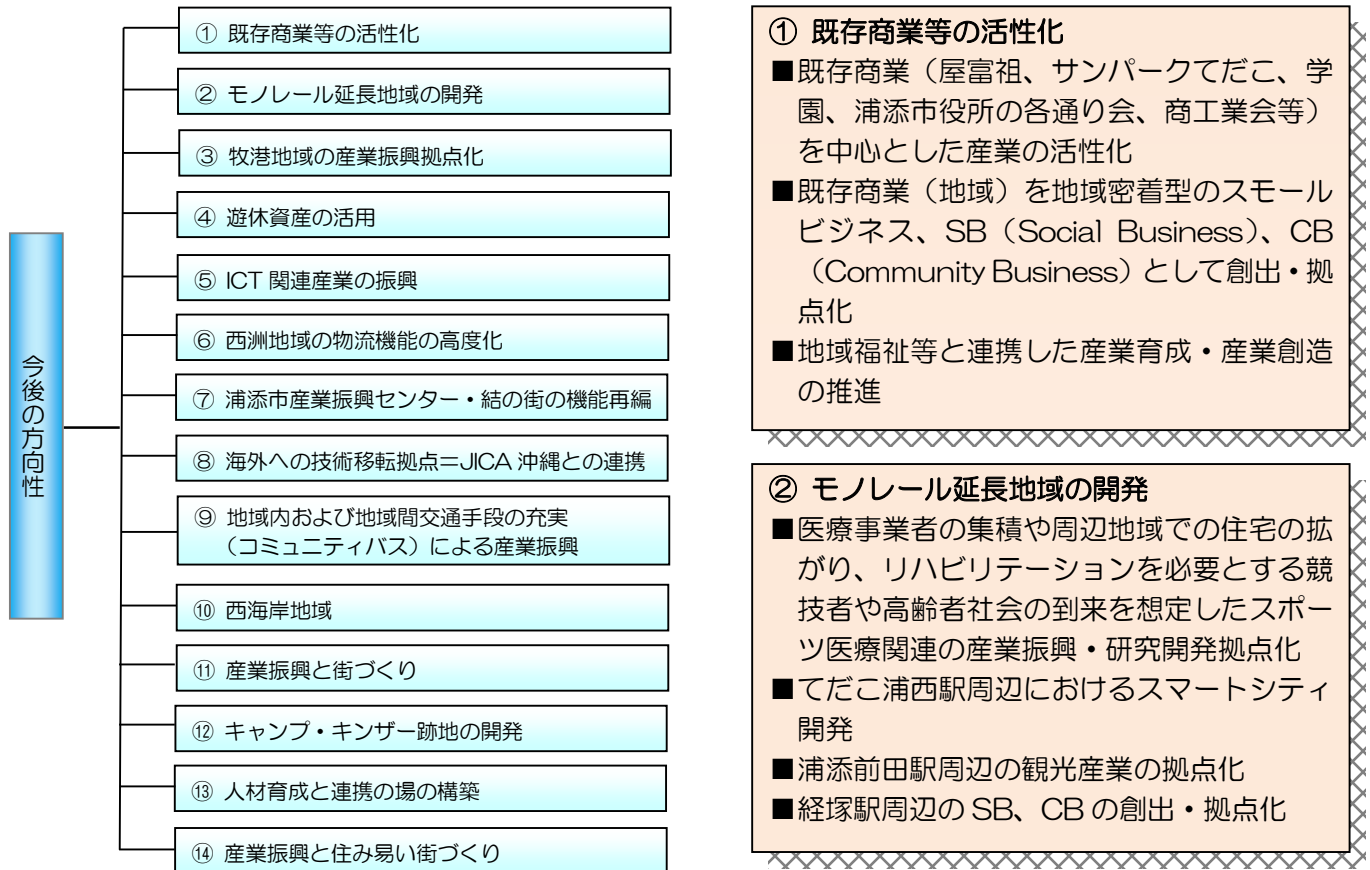
産業振興基本理念と基本方針（ビジョン）

産業振興の基本的な方向性としては、「内発型産業創造（既存産業振興と起業創業）」や「外部連携型産業創造」など、以下の5つの項目が想定されます。これを踏まえて、浦添産業振興モデルの構築を目指します。



実行計画のまとめ（アクションプラン）

本市の産業振興については、「既存商業等の活性化」や「モノレール延長地域の開発」など、以下の施策体系に基づき、14 個の施策について推進していきます。



③ 牧港地域の産業振興拠点化

- 農水産業の 6 次産業化
- 環境産業の振興拠点化
 - ・ 農水産業と小型分散型エネルギーシステムに係る環境技術の産業創出拠点としての開発
 - ・ 地元企業と外部企業の共同研究・実証実験の場の提供
 - ・ レンタルラボの導入（事業者として民間を想定）

④ 遊休資産の活用

- 遊休資産（魅力が発掘されていない資産を含む）の積極的活用
- 空き家や廃屋、工場など業務用として使用しなくなった建屋、倉庫などの転用
 - ・ 環境技術やスポーツ医療、施設園芸（野菜工場）、コミュニティビジネスやソーシャルビジネスの拠点施設化

⑤ ICT 関連産業の振興

- 産業振興の推進による ICT 関連産業の振興
 - ・ 小規模オフィスやコワーキングスペースなどでの対応による BC、SB の拠点化
 - ・ 他分野の人材での交流による新たな産業・ビジネス創出

⑥ 西洲地域の物流機能の高度化

- 卸・物流系産業の誘致
- 現在の西洲地域の物流機能の高度化による経済特区による産業振興推進
- 従来型の物流・卸の機能を加えた物流機能に製品組立などのアッセンブル機能の高度化

⑦ 浦添市産業振興センター・結の街（以降/結の街）の機能再編

- 結の街の研究開発型のラボへの再編によるサービス系事業者【（BPO／Business Process Outsourcing）等を中心に】の既存市街地への移転等、産業支援機能の再編の検討
- 既存市街地を起業・創業のため場（産業コミュニティの育成を含む）として位置付けの検討
- 結の街を第二創業や企業誘致など、創業・起業後の受け皿として位置付けの検討

⑧ 海外への技術移転拠点＝JICA 沖縄との連携

- JICA 沖縄との連携による市内産業の振興
- 今後の技術としての展開可能性、市場性の高さを見込んだ環境技術による産業振興
- 海外展開に向けた JICA 沖縄との協働による専門のコーディネータ配置を含む体制づくり
- JICA 沖縄との連携によるアジア圏への技術移転やアジアを念頭にした環境技術開発

⑨ 地域内および地域間交通手段の充実（コミュニティバス）による産業振興

- 産業振興を図る各地域内、および地域間、周辺地域間との交通手段の充実
- ＜コミュニティバス導入の効果＞
- ・ 交通不便地域の改善
 - ・ 移動制約者（高齢者、児童等）の移動手段の構築
 - ・ 市民の交通利便性向上（高齢者等への幅広い交通手段の提供）
 - ・ 市内のビジネスコミュニティ及びソーシャルコミュニティの人の移動の促進
 - ・ 観光客の移動手段の充実
 - ・ 上記の効果による地域の産業振興

⑩ 西海岸地域

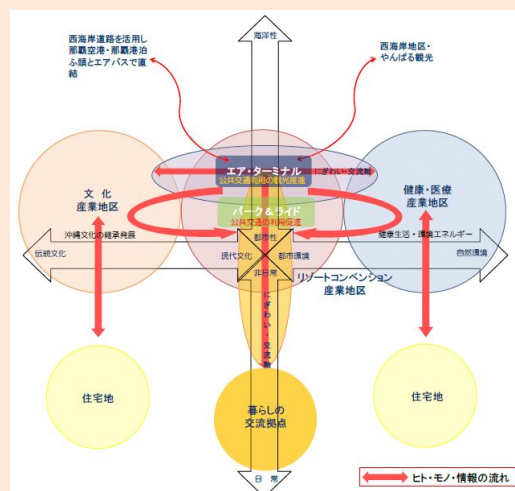
- リゾートホテル、商業、スポーツレクリエーション、ビジネスリゾート等の企業誘致
- 企画力を源泉とした新たなビジネスモデルでの活動を行っている事業者等）などへの支援
- 海岸線を活かした街づくりを行うことによる宿泊施設やビジネスリゾートの誘致

⑪ 産業振興と街づくり

- 西海岸地域やキャンプ・キンザー跡地等の開発に伴う産業振興を念頭にした都市計画の策定
- ＜都市計画策定における注意事項＞
- ・ 都市計画により設定された敷地規模や用途地域（企業誘致や機能〔産業支援機能〕導入への影響）
 - ・ 用途地域やゾーニングを設定する場合、音・振動の発生、危険物の取扱い、住宅等から一定の距離を必要とする機能などへの配慮

⑫ キャンプ・キンザー跡地の開発

- スポーツ医療から派生した健康・医療系産業の研究開発拠点化
- テーマ性を有する研究開発拠点化（レンタルラボの整備・集積等）
- 医療事業者が多い市内の産業特性を活かした、リハビリテーション（アスレチックリハビリテーションなどに特化）医療の事業者の育成拠点化
- 医療や福祉の分野を始めとする人手不足の解消を目的とした外国人の受入れ・研修拠点の形成



⑬ 人材育成と連携の場の構築

- 地域課題等に取り組む SB（Social Business）や CB（Community Business）の活動基盤となる SC（Social Community）や BC（Business Community）を人材育成の場・連携の場＝COP（Community Of Practice／実践共同体）として位置付け
- 市内で活動している地域での活動（まちゼミ、里浜での活動、市内福祉事業者等）を COP として展開

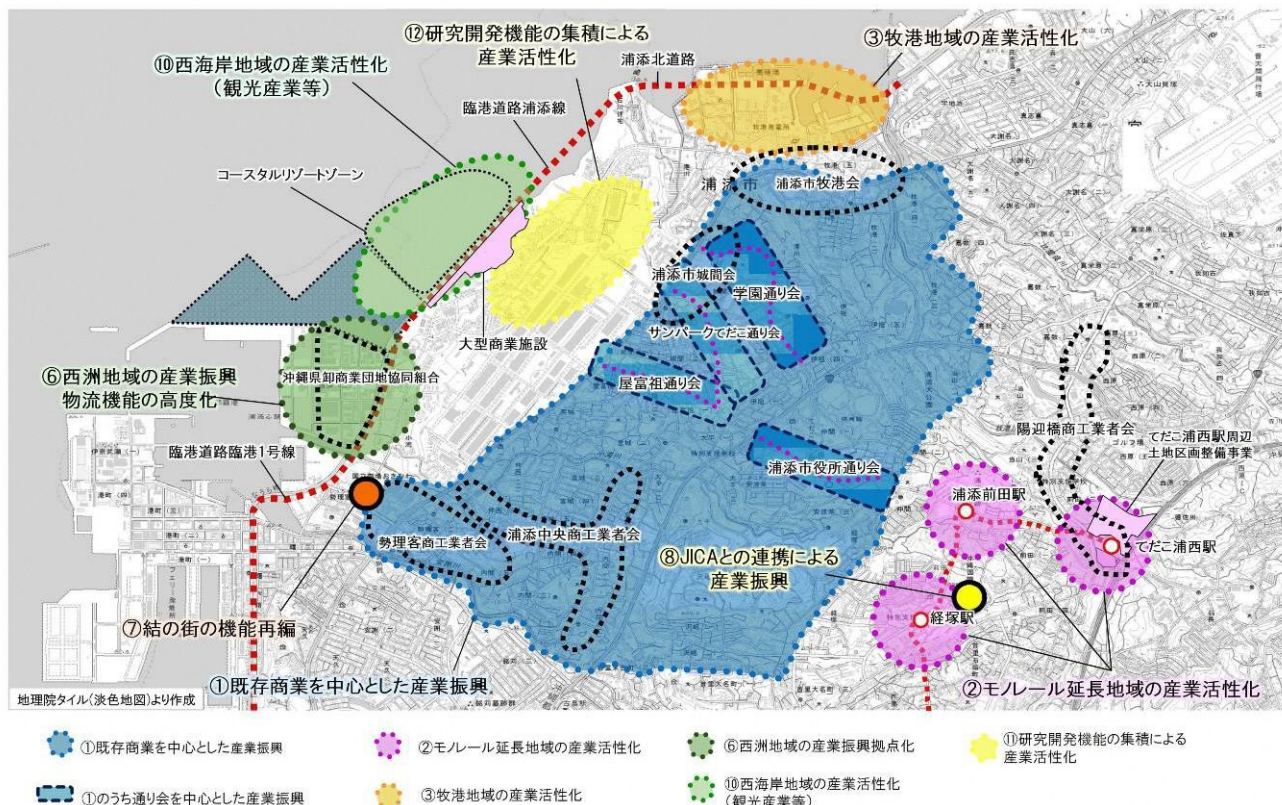
⑭ 産業振興と住みやすい街づくり

- 職住近接や医療の充実などの特徴を活かし、住み易さを更に向上させた産業振興
- 地域コミュニティと既存産業を活かした職住近接環境の充実
- 医療系産業を核とした産業振興
- 地域コミュニティの充実による産業振興

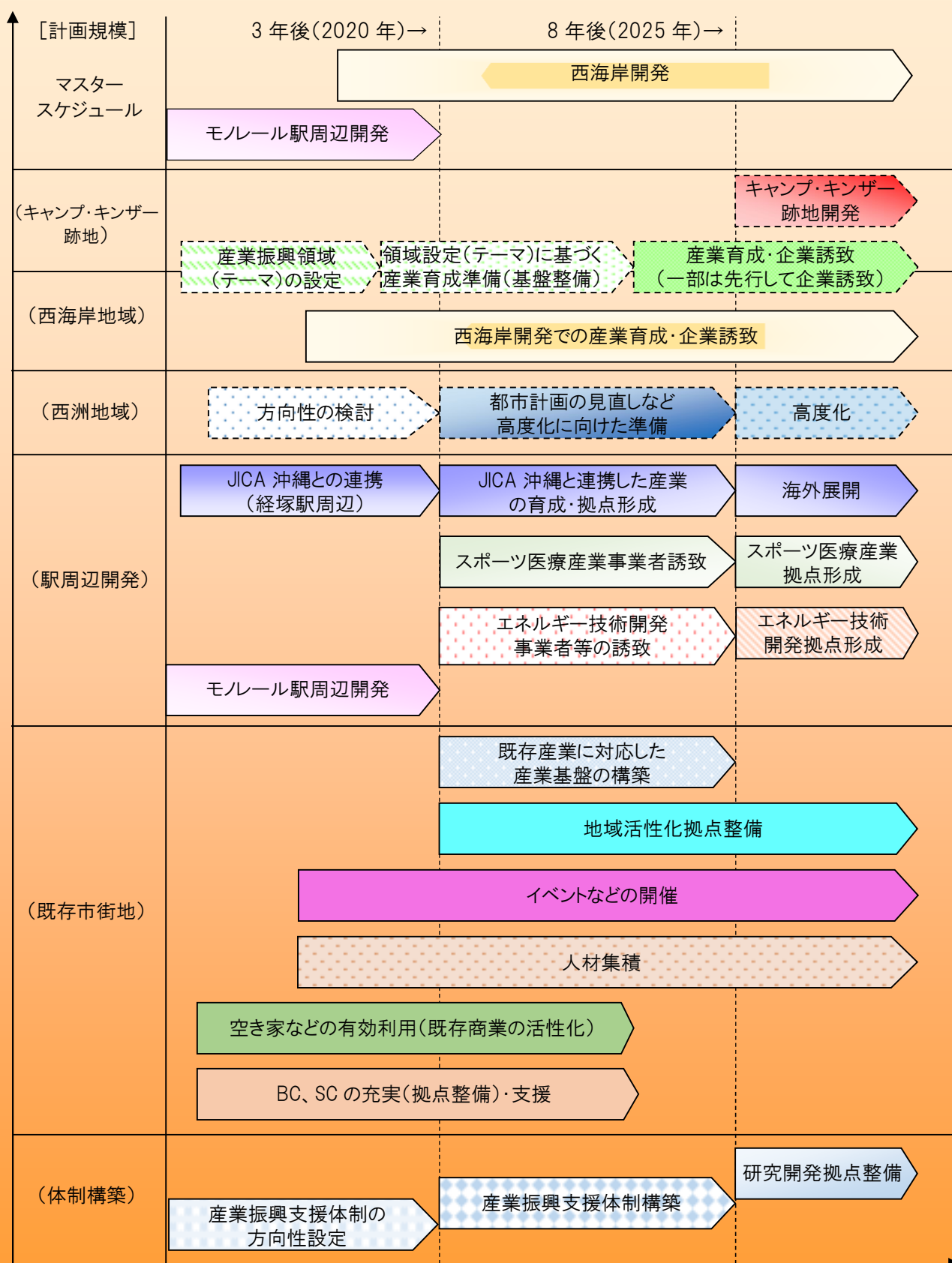


8つの分野	評価項目	項目順位	項目スコア
安心・安全	治安がよい	25	58.3
	自然災害が少ない	19	61.2
	歩道など交通安全に配慮した道路が整備されている	15	65.3
快適な暮らし	防犯対策が整っている	36	61.2
	気候が穏やか	40	59.2
	自然環境が豊か	126	49.8
生活の利便性	公園が多い	32	61.4
	街が静か	181	46.2
	職住接近が可能である	9	65.7
生活インフラ	繁華街へのアクセスがよい	30	66.1
	物価が安い	227	48.4
	買い物がしやすい	8	64.4
医療・介護	上下水道、ガスなどのライフラインが整備されている	18	65.4
	公共交通機関が充実している	125	58.7
	便のよい幹線道路が整備されている	142	56
子育て	図書館や公民館など文化施設が充実している	15	65.7
	病院や診療所が多い	4	67.1
	小児科／産婦人科が多い	2	69.1
	夜間・緊急医療体制が整っている	2	69.2
	介護施設が多い	13	60.1
	保育所や幼稚園が充実している	7	61.2
	教育機関が充実している	14	64.2
	子ども向けの体育・文化活動が盛ん	7	65.3
	自治体による出産・育児・子育て支援が充実している	6	64.6

産業振興拠点整備の方向性（ゾーニング）



西海岸開発やモノレール駅周辺開発など、本市の産業振興に関するスケジュールは以下のとおりです。市民・事業者・行政が協働して、総合的・計画的に本ビジョンを推進していきます。



浦添市産業振興ビジョン

浦添市 市民部経済観光局 産業振興課

〒901-2501 沖縄県浦添市安波茶 1-1-1

TEL (098) 876-1234(代表) FAX (098) 876-9467

<http://www.city.urasoe.lg.jp/>